

レポート課題

アジアと日本の関係を、日本の企業の海外進出を中心に、ある産業を取り上げて述べてください。また、そこから出てきた解決しなければならない問題点、日本とアジアは今後どのようにあるべきか、もできれば述べてください。

提出期限:6月29日までに、

枚数:制限無し、用紙・形式:自由(ワープロ印刷、手書き)

学生番号・氏名・住所記入

○レポートの書き方の例

- ・テーマの暫定的な設定

与えられた出題に対して課題を、または書きたい課題を探し、テーマを暫定的に設定する。

例 日本人の食べ物について、ある食べ物を取り上げて、その現状を述べよ。

暫定テーマ カレーの歴史と現代

- ・課題の設定: ある程度、課題、問題点と結論を推測する。

例 カレーはインドの文化である。

- ・必要文献を調べる、著書、論集、論文、新聞、雑誌、事典 図書館、インターネット

- ・引用文、図、表

カード:京大カード(B6横)を使う ワードを使う コピー 切り抜き

問題点・課題があれば、書き込む 色を使う・青:重要点、課題 赤:問題点、反論点

文献に取り上げられている新たな文献の列挙 :緑

- ・重要点、課題、問題点、反論を整理する。必要あれば、そこから新たな必要文献を調査する。
- ・カードの列挙と整理、対象の絞込み、選別、取捨選択、課題の抽出、問題点抽出、重要度の順序付け
- ・テーマの確認あるいは再設定

例 日本のカレーについて

- ・ある程度の結論部分の書き込み、レポート全体の目安を書き込む。

- ・課題の見直し

例 カレーライスが日本の文化である

- ・執筆へ

問題提起	日本人が一番好む食べ物は何か
課題設定	カレーは日本でどのように変わったのか
事例叙述	カレーの日本での生産量と売上額
問題点の取り上げ	カレーライスかライスカレーか
問題点の解決	どちらも同じものであった。
課題の解決	インドのカレーは日本で違うカレーライスになっていた
結論	カレーライスは日本の文化である
残された問題点と課題	甘口と辛口のカレーはどのように違うのか

- ・テーマの最終確定または再設定

例 日本のカレーライスについて

- ・全体の見直し ・結論部分の見直し ・書き込み、書き直し ・完成

○引用の方法

- ・引用文 : 文章を「 」にくくって、引用する

例 「カレーライス、ライスカレーとも呼ばれている」

- ・引用文献等の表示

- 1) 本文中に引用文献等を書く

例 「カレーライスは、インドが発祥の地であると、これまで言われてきた」(辛井華麗『カレーライスの話』印度書店、2005年、25頁)。この説に疑問を持ったことはなかった。

- 2) 注番号をつけて、最後に列挙する。また論説の補足文も同上に注番号をつけて書く。

例 「日本で食べられているカレーライスは、インドのカレーとはまったく違ったものになってきた。日本では、米のご飯にカレーをかけるのかカレーの一般的な姿だ」<sup>1)</sup>。しかし、インドに行ってみると、ご飯ではなくナンにつけて食べるのが、一般的だった。<sup>2)</sup>

注

1) 辛井華麗『カレーライスの話』印度書店、2005年、32頁

2) ナンは、アジアの各地で食べられている主食である。

- ・引用文献の種類別表示方法

- ・文献 : 著者名『書籍名』出版社名、発行年、引用頁

例 辛井華麗『カレーライスの話』印度書店、2005年、25頁

- ・論文 : 著者名「論文名」編者名『書籍名』出版社名、発行年、引用頁

例 辛井華麗「カレーの起源について」(甘口太郎編『カレーの旅』具多書房、1994年所収)、32頁  
辛井華麗「カレーとインド」(『中辛大学食品論集』第2巻3号、2004年5月)、23頁

- ・新聞・雑誌 : 『新聞名』年月日 『雑誌名』発行年月日

例 「カレー新聞」2005年5月15日

「カレー評論」2004年5月号

- ・同一文献等の表示方法

- ・直前と同じもの : 同上

例 同上33頁

- ・既に表示しているもの : 前掲『書籍名』

前掲『カレーライスの話』26頁

○図・表の引用・表示

図表番号を付け、出典を図表の下に表示する。オリジナルの場合は、何によって作成したか表示する。

例 表5 カレーライスの好き嫌い

種類	好きな人	嫌いな人	どちらとも言えない
甘口	35%	21%	44%
辛口	29%	32%	39%

出典 : 食品研究所編『カレー年鑑』2003年版、501頁

○注のつけ方

論説中に注番号をつけて、最後に列挙する。論説の補足文、引用文献。

○参考文献

一番最後に、論説執筆の際に参考になった文献を掲載する。必ずしも必要ではない。